



11月23日の柳井まつりでは、9つの子ども会と一般参加を合わせた約100名の子どもたちが9台のみこしをかつぎ、秋晴れの駅通りに元気な声を響かせました。商工会館前広場では、多くの会がバザーを出店し、まつりを賑やかに盛り上げました。



8月13日の金魚ちょうちん祭りでは、今年もジュニアリーダーねぶたが、子どもたちの人気者でした。



7月21日と8月17日、周防大島町B&G海洋センターで、毎年恒例の「カヌー体験」を行い、子どもと大人合わせて42名が参加しました。海岸清掃にはじまり、操縦安全講習を受け、海岸から約1km先の彦島まで約30分かけて渡りました。島では海難救助のデモンストレーションを行い、水上バイクやバナボートなどマリンスポーツを楽しみました。



東向地子ども会

球技大会のドッチボールで見事に優勝したことがいい思い出です。夏休みには川輝工房の川崎菊江先生に夏の生き物のステンシルアートを教えていただきました。はつらつ十日会のおばあちゃんたちと交流を深めたり、フラワーランドでどんぐりアートをして、広場で元気に遊んだりと楽しく活動しています。いつでも入会募集中ですのでお気軽に声をかけてくださいね。



きんぎょキッズ 子ども会

「子どもたちがつくる子ども会」をコンセプトに発足し、子ども会議でやりたいことを出し合い、育成会や地域の方に協力してもらいながら活動しています。陶芸体験やバス旅行のほか、GOTCHA! RALLYへの参加、認知症キッズサポーター講座の受講や助け合い募金などの活動、おもちゃすくいパザーでの商業体験など、人と人の繋がりを通じて、学びの多い一年でした。



新庄子ども会

現在33名で活動しています。市子連行事に参加するほか、歓迎会やバーベキュー、クリスマス会など楽しい活動を行っています。地域行事にも積極的に参加し、新庄地区の方々との交流を大切にしています。今年の柳井まつりでは船の形のみこしを、魚釣りや波を表現するなど工夫して、子どもたちみんなで作りました。今後も楽しい行事を増やしていきたいと思ひます。



土穂石子ども会

自治会や校区の枠に囚われず、現在13名で活動しています。7月の廃品回収や笹飾り、柳西地区の運動会など、地域の方々との交流を大切にしています。今年のみこしは「ちいかわ」をみんなで作ってかつぎました。春は歓迎会、夏は丸太村でバーベキューや木工体験など年間通していろいろ楽しみました。クリスマス会はリース作りやお菓子射的とても盛り上がりました。



柳井南子ども会

柳井南子ども会には、阿月地区と伊保庄地区の親子が参加して楽しく活動しています。夏休みの親睦交流会では阿月の海岸でバーベキューや海水浴をやって楽しみました。廃品回収も例年通り行いました。3月にはお別れ会を行う予定です。OBやOGともつながって盛り上げていきたいです。



瀬戸側子ども会

柳井まつりでは、思い思いに描いた金魚ちょうちんの絵を貼ったみこしをかつぎました。クリスマス会ではポッチャ大会で喜んだり悔しがったりと大いに盛り上がりました。2月には、瀬戸側自治会の三世代交流餅つき大会に参加して、つきたてのお餅とバーベキューでお腹いっぱいになりました。市子連の行事に参加し、日頃できない体験もでき充実した活動をしています。



ひづみ子ども会

夏休みに、柳東・山根両子ども会と合同でバス旅行を実施し、NHK 広島放送局と平和記念資料館の見学などをしました。クリスマス会では、自然素材のリース作り、ピングなどで盛り上がりました。地域活動として、日積公園の池清掃や資源回収、12月のふるさと祭でバザー出店を行いました。3月のお別れ会では、岩国市防災学習館へ行き、大内塗箸作り体験を行います。



ひむろ子ども会

伊陸小学校児童全員が会員となり、活動しています。今年度はこどもみこし、夏の納涼祭でのよさこい参加、出店運営お手伝い、バス旅行は広島市内でボーリングやプラネタリウムを楽しみました。春にはお楽しみ会を実施する予定です。地域の方に支えて頂きながら活動を続けていますが、年々こどもと運営役員の減少により、今後の運営方法が課題となっています。



山根子ども会

市子連行事に参加する他、廃品回収や山根自治会とのクリスマス会など、地域の方々や学年が異なる子どもたち同士の交流を大切にしながら、コミュニティで輪を広げています。どなたでも入会・参加できますので、気軽にお声がけください。



苗代地子ども会

今年は主に市子連の行事に参加し、カーニ、子どもみこし、料理教室などを体験しました。会員の子もが一人と少人数のため、行きたい所、やりたい事の要望が通りやすいです。行事の参加は自由で、保護者の役員負担はありません。どの地域にお住いでも入会できますので、お気軽にお声がけください。



柳東子ども会

6月に柳東子ども会初めての単独での行事で歓迎会を行いました。新聞紙を使ったゲームや、事務局から借りたポッチャなどの遊具で楽しく遊び、自由にトッピングしたケーキをおいしくいただきました。柳井まつりではみこしに参加し、バザーも出店しました。そのほか、ひづみ子ども会さんの夏のお楽しみ会や、クリスマス会に合同参加して楽しく過ごしました。



わくわく子ども会

11月29日に広瀬自治会とコラボして避難訓練を実施しました。西福祉センターを出発して市の指定緊急避難場所に指定されているやまぐちフラワランドまでの避難経路を歩きました。フラワランドでは「防災パーク2025」が開催されており、非常食づくりや、伝言ダイヤル、VR体験など、イベントを楽しみながら、防災を身近に感じ関心を高めることができました。



10月12日、市の危機管理課と柳井地域広域水道企業団のご協力のもと、みどりが丘図書館で「防災デイキャンプ」を行い、26名の子どもたちが参加しました。

大規模災害の発生と、指定避難所である図書館への避難を想定して行いました。

まず、給水車による飲料水の配給を体験したのち、かまどベンチを使って湯を沸かし非常食を試食しました。また、図書館の防災機能の見学や、簡易テントとベッドの組み立てを体験しました。このあと文化福祉会館に場所を移し、防災士の方からハザードマップや災害への備えに関する講話を聴き、防災・減災についての意識を高めました。



水道からあたりまえに水が出る毎日ってありがたいね。



マッチを使っての火起こしも電化社会では貴重な体験。



お湯を注いで作る、初めての非常食はどんな味かな。



みんなで協力して、ベッドやテントを組み立てたよ。

1月18日、文化福祉会館で「朝ごはん料理体験」を行い、10名の子どもたちが参加しました。柳井市保健センターの管理栄養士さんと柳井市食生活改善推進協議会のヘルスメイトさんを講師に迎え、「ハムたまおにぎり」「たっぷり野菜豆乳スープ」などを作りました。クイズや一口で30回以上噛むことを意識する話などを交え、子どもたちの朝食を摂ることへの関心と料理への興味を高めました。



募金活動にご協力ありがとうございました

「なかよし助け合い募金」に11子ども会89名が参加し、24,497円の浄財が集まりました。12月25日、東向地子ども会の山内悠雅さんと土穂石子ども会の中本彩瑞さんが、参加者を代表して斉郷会長と市役所を訪問し、井原市長に目録を渡しました。

募金活動に対するご支援とご協力をありがとうございました。



編集後記 ◆2019年以來の防災キャンプは、タンク車による飲料水配給や避難生活の疑似体験など、有事を想定した有意義なシミュレーションでした。みどりが丘図書館の防災機能を実際に使用したことで、その検証に役立てられることを望みます。(☆)